

平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイ・ピー・エス

コード番号 4335 URL <http://www.ips.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長兼内部統制推進室室長 (氏名) 藤本 克哉

TEL 078-361-0040

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	291	△3.5	17	74.5	17	73.2	15	420.6
24年6月期第1四半期	301	33.8	9	29.4	10	27.1	2	△33.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	640.85	—
24年6月期第1四半期	123.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第1四半期	921	713	77.5	29,885.86
24年6月期	956	713	73.7	29,495.01

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 713百万円 24年6月期 704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	250.00	250.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	250.00	250.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	550	△6.4	40	△5.5	40	△6.3	22	24.0	920.89
通期	1,200	△3.1	85	106.4	85	105.5	47	194.2	1,967.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。

詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期1Q	24,660 株	24年6月期	24,660 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年6月期1Q	770 株	24年6月期	770 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	23,890 株	24年6月期1Q	23,890 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国では追加的金融緩和策等により景気が底堅く推移しているものの、債務危機が続く欧州ユーロ圏のマイナス成長に加え、中国などの新興国経済も景気拡大のテンポが弱まるなど、全体的に減速の動きが広がっております。

一方、わが国経済は東日本大震災の影響からは緩やかながら回復がみられるものの、欧州経済の不安や円高等の先行き不透明感から、依然として厳しい事業環境が続いております。

当社を取り巻く環境は、企業の情報システム投資に対する慎重な情勢は変わらず、情報サービス産業にとって厳しい経営環境が続いておりますが、マーケットのニーズは大規模なシステム開発からスマートフォン、タブレットPCなどを活用したシステム開発へと変化しつつあります。

また、電力需給の逼迫感からビジネスプロセスの見直しや災害対策に対する意識が一段と高まっており、クラウド市場及びモバイル市場は今後ますます膨らんでいくと予想されます。

かかる状況の下、当社はERP導入事業における元請けビジネスと共に、アライアンス・ビジネスの営業を強化し、受注の安定に努めて参りました。

従来のテレマーケティングの活用のほか、セミナー等を積極的に開催し、営業チャネルを大きく開き、かつ、当社の強みであるノウハウや製品群を活かした営業活動に注力して推進して参りました。

さらに、クラウド型サービスの分野においては、協業体制ならびに社内の開発体制を強化し、顧客への提案内容の充実を図りながら、コンサルティング事業の強化に努めました。

なお、当社はERP導入事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、積極的な営業活動により売上高は前年同期比微減の2億9千1百万円（前年同期比3.5%減）となりました。一方、生産性の向上や業務の効率化に努めた結果、販売管理費が売上比2.5%減少し、営業利益1千7百万円（前年同期比74.5%増）、経常利益1千7百万円（前年同期比73.2%増）、四半期純利益1千5百万円（前年同期比420.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における当社の財政状態は、前事業年度末と比較して、資産合計が3千5百万円減少して9億2千1百万円となり、負債合計が3千5百万円減少し2億7百万円となり、純資産合計が0百万円増加して7億1千3百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年8月13日に発表しました業績予想につき変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	396,681	425,558
売掛金	201,580	214,884
有価証券	50,032	—
仕掛品	26,487	14,333
その他	77,101	88,053
流動資産合計	751,884	742,830
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	28,403	27,529
工具、器具及び備品（純額）	4,556	6,495
土地	18,863	18,863
リース資産（純額）	14,060	9,464
有形固定資産合計	65,884	62,352
無形固定資産		
ソフトウェア	41,099	36,633
ソフトウェア仮勘定	1,918	1,918
その他	2,179	2,142
無形固定資産合計	45,197	40,695
投資その他の資産		
繰延税金資産	30,596	30,596
差入保証金	38,775	21,281
その他	24,397	23,937
投資その他の資産合計	93,768	75,814
固定資産合計	204,850	178,862
資産合計	956,734	921,693
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,218	8,747
未払金	50,019	46,210
未払費用	5,089	25,381
未払法人税等	19,974	8,817
その他	78,746	57,881
流動負債合計	177,048	147,039
固定負債		
退職給付引当金	55,471	52,762
その他	11,129	7,918
固定負債合計	66,600	60,680
負債合計	243,649	207,720

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	94,202	94,202
利益剰余金	377,407	386,744
自己株式	△22,223	△22,223
株主資本合計	704,635	713,973
新株予約権	8,449	—
純資産合計	713,085	713,973
負債純資産合計	956,734	921,693

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	301,634	291,143
売上原価	183,585	176,803
売上総利益	118,049	114,340
販売費及び一般管理費	108,125	97,020
営業利益	9,923	17,319
営業外収益		
受取利息	400	123
助成金収入	—	300
その他	97	23
営業外収益合計	498	448
営業外費用		
支払利息	282	192
その他	—	18
営業外費用合計	282	210
経常利益	10,139	17,557
特別利益		
新株予約権戻入益	256	8,449
特別利益合計	256	8,449
特別損失		
固定資産除却損	—	698
会員権評価損	4,666	—
リース解約損	—	1,600
特別損失合計	4,666	2,298
税引前四半期純利益	5,729	23,707
法人税等	2,788	8,397
四半期純利益	2,940	15,309

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。